平成25年度　事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	かわごえ環境推進員制度														継続
コード	24	－	51	－	04	－	00	予算事業名	かわごえ環境推進員制度						
担当部署	環境部		資源循環推進課			減量リサイクル推進担当		予算事業コード	会計	10	款	04	項	01	目 10

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）　　位置付けなしの場合　　法令による実施義務　義務ではない

基本目標(章)	5章	人と自然がともに生きる、地球環境にやさしいまち	実施計画事業名	なし
方向性(節)	1節	総合的かつ計画的な環境行政の推進	個別計画等の名称	なし
施策	2	環境活動参加のためのしくみづくり		
細施策	1	パートナーシップの形成	当事業に関連する事務事業	地域環境美化促進 集団回収促進事業
事業実施の根拠となる法令・条例等	川越市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例（設置時） かわごえ環境推進員設置要綱			

2. 事業の目的と概要

事業の目的（誰・何を対象に、何のために実施するのか）	各自治会から推薦された者が地域のリーダーとして、ごみの減量化・資源化の推進・啓発、ごみの分別指導や地域の環境美化活動の推進・啓発を行い、市民と行政が一体となり環境問題に対処し、住みよい魅力あるまちにする。
事業の概要（活動内容、実施手段・方法など）	各地域において推進員が中心となり、ごみの減量化・資源化の推進・啓発、ごみの分別指導や地域の環境美化活動の推進・啓発を行う。また、協議会において、推進員の資質向上のために研修会及び会議をとおした情報交換を行う。

3. 実施にかかるコストと実績

（単位:千円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額		11,160	11,192	10,536	7,603	6,999	
（25年度予算額大幅増／減の理由）							
事業費	A	11,017	11,129	10,307	7,246	6,999	7,001
人件費	B	3,669	2,935	2,201	2,935	2,568	2,568
総コスト（C＝A＋B）		14,686	14,064	12,508	10,181	9,567	9,569
正規職員（1年間の従事人数）		0.50人	0.40人	0.30人	0.40人	0.35人	0.35人
臨時職員（1年間の従事人数）		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担（＝C－D－E）		14,686	14,064	12,508	10,181	9,567	9,569

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

	評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
活動	環境推進員活動数	回	270	256	232	388	1自治会4活動	年度 1自治会4活動
	指標の定義・説明		環境推進員が行った活動の種類数					
活動	研修会開催回数	回	1	1	1	1	1	年度
	指標の定義・説明		1年間で行った環境推進員研修会の開催回数					
活動	理事会・役員会開催回数	回	8	6	10	6	8	年度
	指標の定義・説明		1年間で行った理事会及び役員会の開催回数					
								年度
	指標の定義・説明							
指標に基づく評価			推進員が中心となり、自治会や子供会など地域の組織や団体と相談・協力しながら、その地域にあった環境に関する活動を行うことができた。					

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	公平性に課題			

地域や個人により、推進員の活動に差がある。

(2) 比較参考値（他市での類似事業の例など）

他市町村でも同様の取り組みを行っている。

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響

環境推進員は、地域と市を結ぶパイプ役として重要な役割を果たしています。制度を縮小した場合、その地域にあった環境に関する活動が縮小するおそれがあります。また、廃止した場合は、市と地域を結ぶ何らかの代替システムを作る必要があります。

平成25年度事務事業評価　方向性提示シート

所管部署			環境部				資源循環推進課	減量リサイクル推進担当
事務事業名称			24	51	04	00	かわごえ環境推進員制度	
今後3年間の方向性	25年度	継　続	環境推進員の活動は自主的なものであることを踏まえ、個人や地域による活動の格差が少なくなるよう、協議会との連携を継続して深めていく。					
	26年度	継　続	環境推進員の活動は自主的なものであることを踏まえ、個人や地域による活動の格差が少なくなるよう、協議会との連携を継続して深めていく。					
	27年度	継　続	環境推進員の活動は自主的なものであることを踏まえ、個人や地域による活動の格差が少なくなるよう、協議会との連携を継続して深めていく。					